

平成30年1月～平成30年3月

29 本町通り商店街の街並みづくりについて<平成30年1月29日>

(長者宮 大和 俊昭)

二本松市の顔、本町商店街通りが寂しすぎるようです。提灯祭りのこともあるので、道幅を広げたり、電線を地下に埋設したりできないでしょうか？根崎のように建築も統一感があったら、印象もよくなると思います。せめて建物の色だけでも落ち着いた色にしてはどうでしょうか。人気の老舗の隣りが居酒屋さんというのも、観光客に不評です。城下町として人気のある街に学び、歴史を感じられる街並みづくりに取り組んでいただきたいです。市が主導権を握って実行してください。

【内容を確認し、市から礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました】

33 文化・スポーツの総合施設整備について<平成30年2月1日>

(正法寺 瀬戸 一晟)

ぼくは、(すべてをまとめた大きな施設) スポーツ大会、ストレッチ教室、遊び場、勉強室、図書室などがある施設をつくることを提案します。この施設をつくれば、市全体が明るくなる。(交流がふかまる) 子供からお年寄りまでが健康でいられる。勉強室や図書室があるため、調べ物も出来るし、受験生にも役立ちます。

この施設をつくるための費用は、県・市などの税金でまかさないです。この施設ができれば、この二本松市は、子供から、お年寄りまでが健康で長生きできる。地域の人が一体となり、町が明るくなるため、住みよいまちになると思います。

【内容を確認し、市から礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました】

35 道路改良に関する要望について<平成30年2月8日>

(油井 野里 安雄)

私の住んでいる地区内は田舎なので一見静かです。所が地区内に土建会社が出来その規模がだんだん大きくなり、夏までは朝4時から動きだします。出入りのセールスマンはスピード出します。なので乳母車などでのんびり散歩できません。朝夕の通勤時だけでなく近くの工事の時など日中の出入りもあります。二車線にして歩道つけてくれる事希望します。

歩道があれば小・中学生も安心して通学できます。よろしく願い申し上げます。尚、会社が駐車場と共々移転した場合は希望取り下げます。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

交通量、周辺的环境も含め調査を行い、今後の道路整備計画の中で検討を行って参りたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

36 道路改良に関する要望について<平成30年2月8日>

(上太田 本田 郁夫)

上太田広瀬・夏刈線について早急なる改良工事をお願い致します。近頃は車の通行も多くなり困っております。よいまちづくりは地方からと申します。よろしく願い申し上げます。

市長さんにもよろしくお伝えください。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

交通量、周辺的环境も含め調査を行い、今後の道路整備計画の中で検討を行って参りたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

40 市の健康増進、自殺対策等について<平成30年2月9日>

(向原 上田 秋二)

- ①健康診断時にて6年前告知で、自分が何も気づかずいたメタボ予備軍と教えてもらい。野菜多く運動量1日40分歩いて体重計を見て確認する自己管理しています。告知してもらってよかった。
- ②二本松は坂が多いので。坂道は平坦道の3倍量運動になり良い所に市民は住んでるので、役所はそれを利用して市民の健康管理に役立つ。勾配の坂は歩くと何カロリー使うとか。
- ③お願い踏切が3カ所あるが、私は通れない。なぜかと言うと自殺者が飛び込み自殺している(2017年11月頃 大壇)小学生が通っているのが不安です。市役所でもJRの所でも良くないうわさになっているので対策してほしい。

【内容を確認し、市から礼状を送付しました】

41 和紙伝承館の職員採用について<平成30年2月21日>

(上川崎 安齋 幸市)

和紙伝承館の職員採用について

私は(68歳)昨年より和紙伝承館においてパート採用で紙漉き(楮、初の栽培等)の手伝いをしております。職員採用について以前は地域おこし隊として入社された方々が仕事を覚えては止めるという状態が続いている様子です。これでは、中々伝承の意味が成り立ちません。又技術取得もゼロからの出発になります。技は1~2年では身に付きません。ゆえに技術職としての採用を早急に願うものです。長く勤めてもらうには地域採用が必須かと思えます。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

上川崎和紙の技術伝承については、地域おこし協力隊員の募集を行っており、その採用に当たっては隊員任期3年の終了後も当地に定住いただく意思をお持ちの方に限らせていただいております。また、3年での起業独立が難しい場合には、二本松市振興公社での直接雇用も考慮しており、技術伝承者の定住に向け意を用いて参ります。

46 東和ロードレース大会について<平成30年2月19日>

(匿名)

東和ロードレース大会で行われている、あじさい寺に韋駄天様がいます。韋駄天様は、走る神様です。小学校では、今それを調べています。東和ロードレース大会で全国から多くの人が走りに来ます。

二本松市でもPRすると思います。安達ヶ原でのお土産で使えるクーポン券を発行すれば、帰りに寄ると思います。

【内容を確認しました】

47 東和地区のバス運行計画の見直しについて<平成30年2月22日>

(太田 菅野 拓)

高齢化社会に入り、免許証の自主返納が増えるのは大変良い事だと思っております。

そこで問題なのが交通の便だと考えております。私達が住む東和地区 西谷は交通の便が悪く二本松に病院、買い物が出来ない状態。なぜこんな不便なバス運行を計画したのか理解できません。東和支所に行くのも冬場は路面凍結で歩けない。こんな取り残された地域では若者の定着は望めなく離れていく気持ちがわかります。ぜひ市長の力量でこうした地域を少なくしてほしいと思います。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

ご指摘をいただきましたバスの運行に関しましては、ご不便をお掛けしております。

東和地域の交通体系につきましては、路線バスの利用者減少及び東和小学校開校などにより、平成22年4月から路線バスの再編を行い、併せてスクールバスとしての利用を兼ねたコミュニティバスの運行を始めまして、現在も継続して運行をしております。公共交通サービスにつきましては、重要

な課題であると認識しております。今後状況を見据えまして検討して参ります。

また、登録による予約制となりますが、自宅のできる限り近い場所から、運行区域内の目的地までデマンドタクシーを運行しておりますので、ご案内申し上げます。

4 8 高齢者温泉等利用健康増進事業利用券の利用範囲について<平成30年2月26日>

(匿名)

日々お疲れ様です。建設的な話しではないかもと、高齢者温泉利用券について、確か一昨年までは旅館での温泉利用の回数券・手形を買うことができ、しかも家族内で、本人でなくとも使用することができました。昨年は回数券・手形本人であっても買えません。どうしてそのような事にしましたか。折角健康増進事業利用券とうたっているのですから、利用者側の使い方を制約することなく、前のように戻して頂き、広く使えたらとお願いいたします。仲間を代表して、お手紙したためました。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

当市の高齢者温泉等利用健康増進事業利用券は、高齢者本人が温泉等施設を利用することで、健康の増進や閉じこもりの解消を図ることを目的に交付している助成券となっております。利用方法につきましては、以前より、本人のみが使用でき、家族等を含む他人には譲渡できないことになっております。回数券の購入も利用対象としてはおりません。何卒、本事業の趣旨をお汲み取りいただきたいと存じます。

5 0 二本松図書館の駐車場とトイレの洋式化について<平成30年3月8日>

(匿名)

いつも図書館を利用させて頂きありがとうございます。今のところ車運転で利用させて頂いておりますが運転できなかつたらどうしようと思います。何といたっても図書館で本と向き合っている時間がいちばん楽しいひとときなので…。困っている最大の1つは駐車場です。下の駐車場も狭く止めずらく特に昨年は足を痛めて入口の駐車場は2台のみ何度か空振りしました。立派な庭もステキですが入口に駐車場を充実させて頂きたいと切に思いました。トイレも和式で大変困りました。図書館に入るまで階段を無い場所がとても利用しやすいと思います。しかたがない分もあると思いますが駐車場ご検討お願いします。

【内容を確認し、次のとおり回答しました】

駐車場の件ですが、ご指摘のありましたとおり駐車台数が少ないうえ駐車スペースも狭くたいへんご不便をおかけしております。新年度において駐車場の区画幅の拡幅を予定しておりますが、敷地にも限りがあり十分な改善が難しい状況でありますので、からだのご不自由な方への対応も含め今後の検討課題とさせていただきます。なお、満車や駐車しづらい場合には、隣接する市営駐車場を無料でご利用いただけますのでご活用くださいますようお願いいたします。

また、トイレの件ですが、昨年7月に一部を洋式トイレに改修いたしましたので、ご利用いただければ幸いです。

5 1 交流人口増加対策について<平成30年3月5日>

(木幡 樵 誠一)

市の施策で人口減に歯止めがかけられるものではない。人口減対策は“国策”で取り組むべきです。従って当市の税配分は人口減対策でなく、活性化へ重点傾斜する事が賢明な策ではないかと考える。二本松市の財産（他の市町村との差別化を図る事が出来る財産）は、私は下記の財産ではないかと考える。その財産を活用し、交流人口増加策による二本松市の活性化を推進してほしい。

<私の考える市財産>

1、安達太良山 2、岳温泉 3、エビスサーキット 4、智恵子(抄)・ほんとうの空 5、桜

<具体策>

例えば安達太良山が見える眺望がよいロケーションへの飲食店(レストラン・喫茶店など)誘致。

【内容を確認し、市から礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました】

53 市民交流センターの下駄箱設置について<平成30年3月19日>

(杉沢 本田 寅喜)

二本松市民交流センター玄関に(センターの廊下に)どろ足のくつで入るのに入口に下駄箱を置いたらどうでしょうか。いなかの為に土足で入るのもったいないですから、何時もきれいにモップかかって居てもったいなく感じますので、入口に土足のくつ入れるのに、廊下の面もいつもピカピカで壁のガラスもくもり一つないのにおそれいますから。どうでしょうか。

【内容を確認し、市から礼状を送付しました。】